

令和元年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	技術開発支援事業(共同研究)	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画事業部
事業名 (大項目)	調査研究及び研究助成事業	分類名 (中項目)	大学連携等による調査研究事業		事業区分	助成(応募型)	

1. 事業目的

公募型助成事業の一環として、北陸地域の社会資本整備に係る地域づくり、産業振興、建設技術等に関する課題の解決に向けた技術開発、調査研究を行う研究グループを支援し、地域のさらなる活性化と振興を図る。

2. 事業実施体制

【共同研究1】北陸地方のインフラメンテナンス促進に関する調査研究

代表者: 佐伯 竜彦(新潟大学 工学部 教授)

【共同研究2】道の駅を核とし、『庭園の郷』復活にともなう

保内地域の活性化事業

代表者: 吉川 敬之(後任: 長谷川 泰介)(保内緑の里管理組合 組合長)

3. 事業実施概要

【共同研究1】新規

第一部会では、最新の維持管理技術を調査し、岐阜・長崎・愛媛大学の実績を参考として、北陸の地形・気象条件や構造物の特徴にも留意し、ME養成講座のテキストの見直し、改善を行った。第二部会では、橋長の短い道路橋の点検・補修技術を最新の開発技術と精査して短時間で点検できる方法を選定し、技術展示会により自治体ニーズと民間企業シーズをマッチングした。

【共同研究2】継続

かつて全国有数の植木産業の地であった三条市保内地区の活性化を図るため、「道の駅」をゲートウェイとし産官学民一体で地場産業の再興に向けた取組を行う。今年度は、住民への聞き取りによる保内地域の観光資源調査、「道の駅」連携やオープンガーデン等による地域への誘客のための取組み調査、地元メディア活用・SNS等による広報効果調査などを実施した。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

北陸地方の安全・安心のためインフラメンテナンスの技術者(ME)育成や先進地との情報交換、カリキュラムの充実、体制強化および点検・補修技術の最新動向の周知等に関する調査研究を実施した。地域産業の活性化を「道の駅」をゲートウェイとして活用し、活気ある地域の実現を目指すものである。両研究とも成果が地域の活性化に寄与し、モデルケースとなりうるものであると期待できる。

【共同研究1】



事業講演会(R1.11.22)

【第一部会】



第2回検討会(R1.12.16)

【第二部会】



第2回検討会(R2.1.22)

【共同研究2】

